

平成27年度
海南市地域防災活動支援事業 実績報告
～ 加茂地区 ～



平成27年10月

海南市

《 目 次 》

1. 概要	1
1.1. 地域支援事業の趣旨	1
1.2. 事業の目標	1
1.3. 実施概要	1
2. 防災研修会	2
2.1. 第1回防災研修会	2
2.1.1. 内容	2
2.1.2. 実施風景	3
2.1.3. 質疑応答記録	3
2.2. 第2回防災研修会	4
2.2.1. 内容	4
2.2.2. 実施風景	5
2.2.3. 防災マップ発表内容	10
2.2.4. 防災マップ	12
3. 防災訓練	21
3.1. 訓練概要	21
3.2. 記録結果	21
3.3. アンケート結果	27

1. 概要

1.1. 地域支援事業の趣旨

平成 23 年の紀伊半島大水害や平成 26 年の広島市における土砂災害などを教訓とし、台風や集中豪雨による風水害に備え、重点地区（別所・扱沢・東畑、南野上、加茂、仁義）において、全住民が参加する防災訓練を実施する。訓練当日は、海南市役所（災害対策本部）から重点地区全域への防災行政無線放送等により気象情報及び避難情報が伝達され、地域住民は予め想定した避難のタイミングや避難経路に従い、訓練に取り組むことで、それぞれが災害時に必要となる避難行動を確認するものである。

1.2. 事業の目標

風水害の発生または発生のおそれが生じた時、地域住民それぞれが迅速かつ的確な判断をし、主体的な行動により自らの命を守ることができるようになることを目標としている。

1.3. 実施概要

(1) 防災研修会

【第 1 回】

日時	平成 27 年 5 月 24 日（日）13：30～15：30
場所	加茂川小学校 体育館
内容	1. 主催者挨拶 2. 被災経験者による体験談 3. 学識経験者による講演 4. 重点地区防災訓練に向けての今後の予定について 5. 避難行動要支援者名簿について

【第 2 回】

日時	平成 27 年 7 月 26 日（日）9：00～12：00
場所	加茂川小学校 体育館
内容	1. 主催者挨拶 2. 「防災ガイドブック（風水害編）」に基づく気象情報等の説明について 3. 訓練当日（8月30日）のスケジュールについて 4. 防災マップづくり・発表 5. 訓練当日（8月30日）までの取り組みについて 6. 閉会挨拶

(2) 防災訓練

日時	平成 27 年 8 月 30 日 (日) 9:00~10:00
場所	大窪・沓掛・市坪・橋本・小松原・青枝・中・小南・梅田・下
内容	1. 避難訓練 2. 避難訓練後に地区の防災ミーティング (任意)

2. 防災研修会

2.1. 第 1 回防災研修会

2.1.1. 内容

日時	平成 27 年 5 月 24 日 (日) 13:30~15:30
場所	加茂川小学校 体育館
参加者	地区参加者 83 名 職員参加者 21 名 合計 104 名
内容	1. 主催者挨拶 本研修会の開催趣旨説明 (危機管理課) 2. 被災経験者による体験談 テーマ「平成 23 年台風 12 号 紀伊半島大水害を経験して～市野々地区の当時と現状～」 那智勝浦町市野々地区 前区長 長雄 正紘 氏 3. 学識経験者による講演 テーマ「豪雨災害時における住民の避難～今から行うべき対策、備え～」 山口大学大学院 理工学研究科 准教授 瀧本 浩一 氏 4. 重点地区防災訓練に向けての今後の予定について 5. 避難行動要支援者名簿について (高齢介護課)

2.1.2. 実施風景



主催者挨拶



研修会実施風景



被災経験者による体験談



学識経験者による講演



防災訓練実施計画概要の説明



避難行動要支援者名簿の説明

2.1.3. 質疑応答記録

特になし。

2.2. 第2回防災研修会

2.2.1. 内容

日時	平成27年7月26日（日）9：00～12：00												
場所	加茂川小学校 体育館												
参加者	<table> <tr> <td>地区参加者</td> <td>73名</td> </tr> <tr> <td>和歌山地方気象台</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>和歌山県砂防課</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>海南工事事務所</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>職員参加者</td> <td>23名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>103名</td> </tr> </table>	地区参加者	73名	和歌山地方気象台	4名	和歌山県砂防課	2名	海南工事事務所	1名	職員参加者	23名	合計	103名
地区参加者	73名												
和歌山地方気象台	4名												
和歌山県砂防課	2名												
海南工事事務所	1名												
職員参加者	23名												
合計	103名												
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主催者挨拶 本研修会の開催趣旨説明 2. 「防災ガイドブック（風水害編）」に基づく気象情報等の説明について <ul style="list-style-type: none"> ・気象情報の説明 ・土砂災害の説明 ・水害の説明 ・避難行動、危険な場所、避難場所の説明 3. 訓練当日（8月30日）のスケジュールについて <ul style="list-style-type: none"> ・訓練の目的や趣旨の説明 ・当日のタイムスケジュールの説明 4. 防災マップづくり・発表 <ul style="list-style-type: none"> ・各地区のグループ員で危険箇所、避難場所、要配慮者宅等を確認して大判（A0）防災マップに記載し、地区の防災マップを作成 ・各自で避難のタイミングや避難経路を確認して手元（A3版）の防災マップに記載し、個人の防災マップを作成 ・各地区で協議・作成した、地区の防災マップの内容を発表 5. 訓練当日（8月30日）までの取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> ・各地区の班員の方々への資料配布と研修会の内容説明を依頼 ・訓練当日、児童館や公民館を使用する地区は、当該施設の開設と鍵の管理者を選任いただくよう依頼 ・避難訓練後に地区の防災ミーティングの実施を依頼 6. 閉会挨拶 												

2.2.2. 実施風景

(1) 主催者挨拶



主催者挨拶

(2) 「防災ガイドブック（風水害編）」に基づく気象情報等の説明



気象情報の説明（和歌山地方気象台）



土砂災害の説明（和歌山県砂防課）



水害の説明（海南市建設課）



避難行動、危険な場所、避難場所の説明
（海南市危機管理課）

(3) 訓練当日のスケジュール説明



訓練当日のスケジュール説明
(海南市危機管理課)

(4) 防災マップ作りの様子



大窪地区



沓掛地区



市坪地区



橘本地区



青枝地区



中地区



小南地区



梅田地区



下地区

(5) 防災マップ発表の様子



大窪地区



杏掛地区



市坪地区



橋本地区



青枝地区



中地区



小南地区



梅田地区



下地区

(6) 訓練当日までの取り組み説明



訓練当日までの取り組み説明
(海南省危機管理課)

(7) 閉会挨拶



閉会挨拶（加茂地区連合自治会長）

2.2.3. 防災マップ発表内容

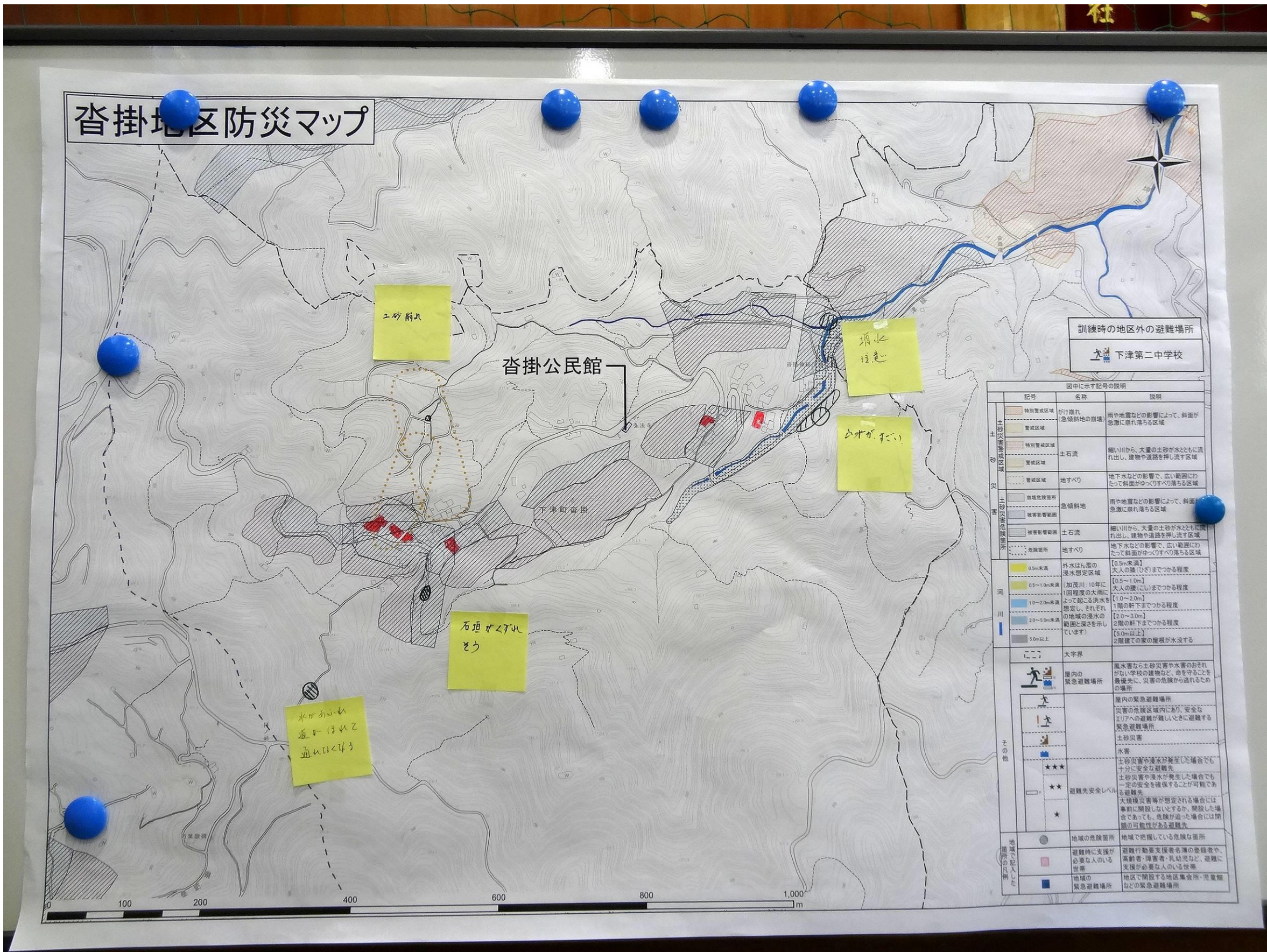
地区	内容
大窪	<ul style="list-style-type: none">・避難場所は大窪集会所とした・危険箇所として神社周辺で石垣が崩れるおそれのある箇所を確認した
沓掛	<ul style="list-style-type: none">・避難場所は沓掛公民館とした・要配慮者の存在箇所を把握できたので避難の際は注意するよう心がける・県による地すべり対策の工事が行われているがまだ危険箇所はある
市坪	<ul style="list-style-type: none">・市坪は全域が警戒区域になっている地区・避難場所は旧加茂第二小学校とした・警戒区域外の住宅は避難せずに自宅待機とする・高齢者、要配慮者の居住地を確認した・災害時に通りづらい道路を確認した
橋本	<ul style="list-style-type: none">・地区の中央付近に加茂川が流れているため、南側は橋本公民館、北側は阿弥陀寺や地藏峯寺で考えている・今後は民家を避難場所とする案も考えたい
青枝	<ul style="list-style-type: none">・過去にがけ崩れがあった箇所を確認した・河川にそって土石流があると予想・避難場所は明確に決められないので自主避難という形で考えているが、訓練に向けて8月上旬にもう一度地区内で話し合いの場を設けて決めていきたいと考えている
中	<ul style="list-style-type: none">・地区内で様々な危険な箇所を確認した・避難場所は中児童館とした・高齢者、要配慮者の居住地を確認、共有した

地区	内容
小南	<ul style="list-style-type: none"> ・避難場所は下津二中とした ・小南地区に通じる小南橋がコンクリート製ではあるが崩れる危険性がある ・過去の事例で、県道周辺で床下浸水の箇所、加茂浄水場の付近のがけ崩れ箇所を確認した
梅田	<ul style="list-style-type: none"> ・避難場所は梅田児童館とした ・善福院までのルートは浸水する可能性があるため、状況に応じて県道付近の工場も避難場所として考えている ・8月の訓練の際に関係者で話し合い、防災マップの完成度を高める
下	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害時は下津二中を避難場所とした ・津波時の避難場所として加茂神社を新たに追加した

2.2.4. 防災マップ



図 2-1 大窪地区防災マップ



訓練時の地区外の避難場所
 下津第二中学校

図中に赤字記号の説明

記号	名称	説明
特別警戒区域	がけ崩れ	雨や地震などの影響によって、斜面が急激に崩れ落ちる区域
警戒区域	特別警戒区域	細い川から、大量の土砂が水とともに流れ出し、建物や道路を押し流す区域
警戒区域	土石流	細い川から、大量の土砂が水とともに流れ出し、建物や道路を押し流す区域
警戒区域	地すべり	地下水などの影響で、広い範囲にわたって斜面がゆるみやすくなる区域
危険箇所	急傾斜地	雨や地震などの影響によって、斜面が急激に崩れ落ちる区域
被害影響範囲	土石流	細い川から、大量の土砂が水とともに流れ出し、建物や道路を押し流す区域
危険箇所	地すべり	地下水などの影響で、広い範囲にわたって斜面がゆるみやすくなる区域
0.5m未満	外水はん濫の浸水想定区域	【0.5m未満】大人の膝(ひざ)までつかる程度
0.5~1.0m未満	(加茂川・10年に1回程度の大雨に比べて起こる洪水に想定し、それぞれの地域の浸水の範囲と深さを示しています)	【0.5~1.0m】大人の腰(し)までつかる程度
1.0~2.0m未満		【1.0~2.0m】1階の軒下までつかる程度
2.0~3.0m未満		【2.0~3.0m】2階の軒下までつかる程度
3.0m以上		【3.0m以上】2階建ての家の屋根が水没する
ここ	大字界	
屋内の緊急避難場所		風水害なら土砂災害や水害のおそれがない学校の建物など、命を守ることを最優先に、災害の危険から逃れるための場所
屋内の緊急避難場所		屋内の緊急避難場所
緊急避難場所		災害の危険区域内にあり、安全な立回りの避難が難しいときに避難する緊急避難場所
土砂災害		土砂災害
水害		水害
避難先安全レベル		土砂災害や浸水が想定された場合でも十分に安全な避難先
避難先安全レベル		土砂災害や浸水が発生した場合でも一定の安全を確保することが可能である避難先
避難先安全レベル		大規模災害が想定される場合には事前に開設しないとするが、開設した場合であっても、危険が迫った場合には閉鎖の可能性のある避難先
地域の危険箇所		地域で把握している危険な箇所
避難時に支援が必要な人のいる世帯		避難行動要支援者名簿の登録者や、高齢者・障害者・乳幼児など、避難に支援が必要な人のいる世帯
地域の緊急避難場所		地区で開設する地区集会所・児童館などの緊急避難場所

図 2-2 沓掛地区防災マップ

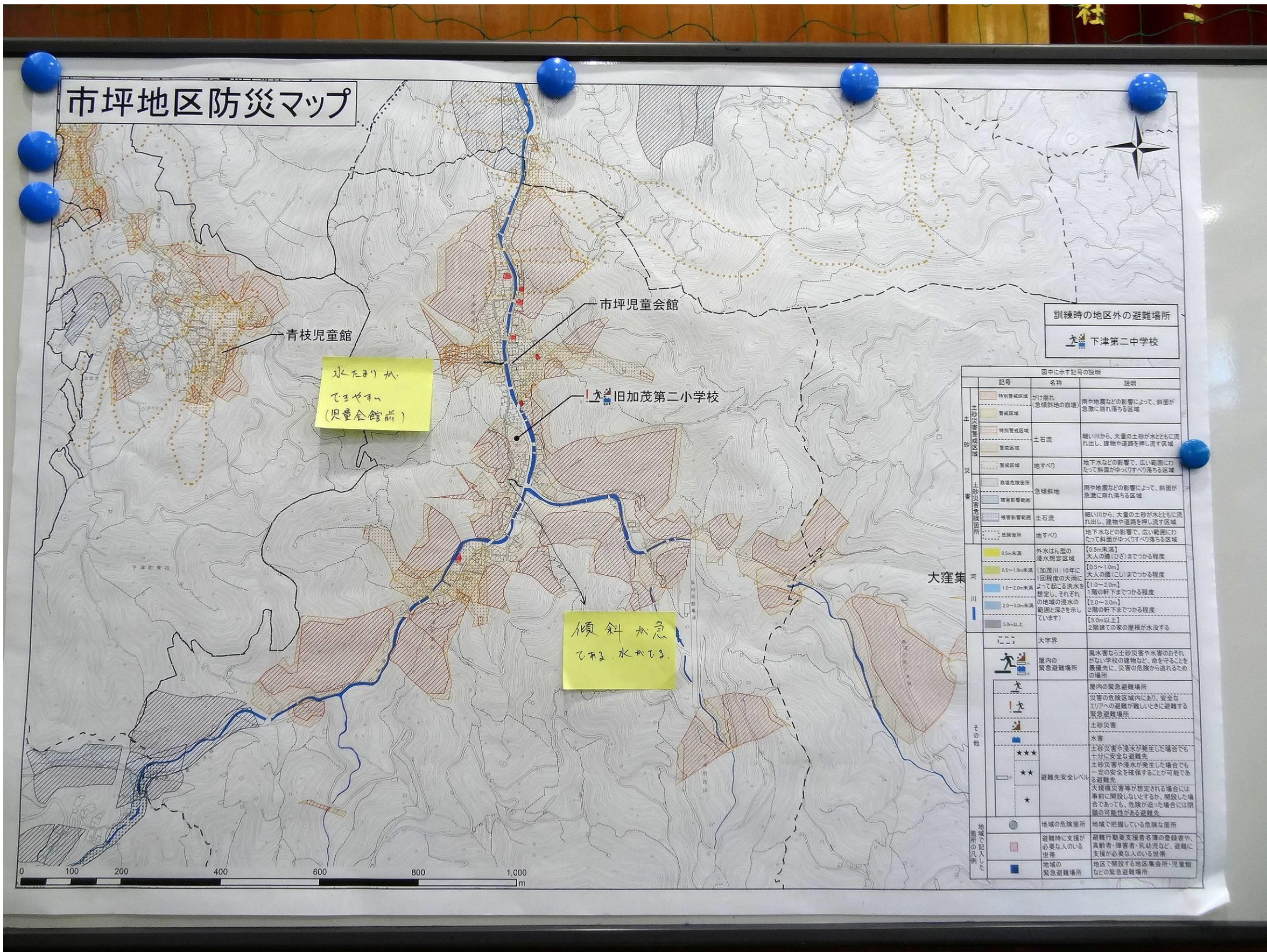


図 2-3 市坪地区防災マップ

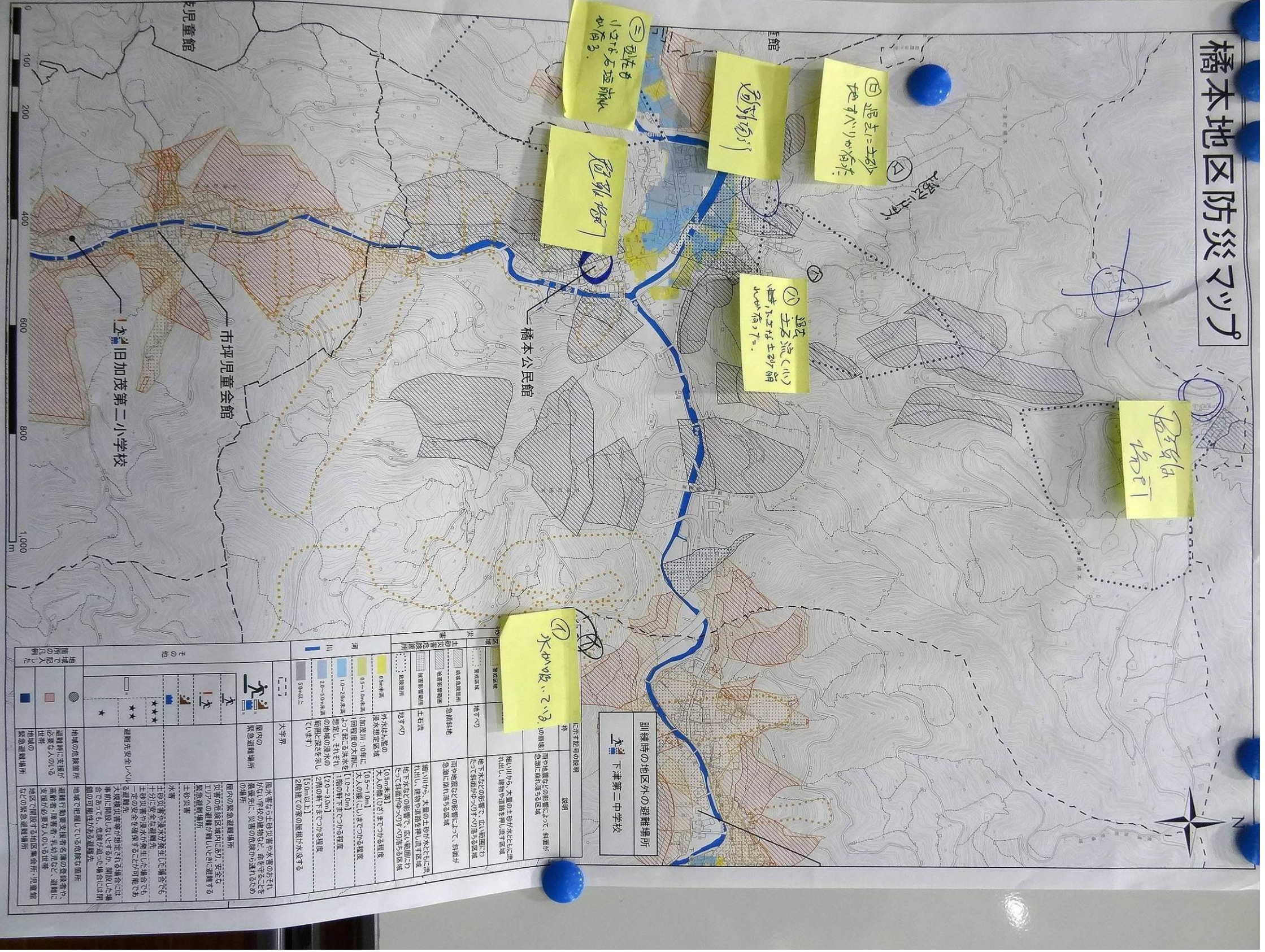


図 2-4 橋本地区防災マップ



青枝地区防災マップ

加茂川小学校

橋本公民館

訓練時の地区外の避難場所
下津第二中学校

青枝児童館

エテ前地

池、水跡
沢地のおり水

エテ前地

図中に示す記号の説明		
記号	名称	説明
[Symbol]	特別警戒区域	がけ崩れ、雨や地震などの影響によって、斜面が急峻に崩れ落ちる区域
[Symbol]	警戒区域	特別警戒区域
[Symbol]	特別警戒区域	土石流、細い川から、大量の土砂が水とともに流れ出し、建物や道路を押し流す区域
[Symbol]	警戒区域	土石流
[Symbol]	警戒区域	地すべり、地下水などの影響で、広い範囲にわたって斜面がゆっすり落ちる区域
[Symbol]	危険箇所	急峻斜面、雨や地震などの影響によって、斜面が急峻に崩れ落ちる区域
[Symbol]	被害影響範囲	土石流、細い川から、大量の土砂が水とともに流れ出し、建物や道路を押し流す区域
[Symbol]	危険箇所	地すべり、地下水などの影響で、広い範囲にわたって斜面がゆっすり落ちる区域
[Symbol]	0.5m未満	外水はん濫の浸水想定区域 [0.5m未満] 大人の膝(ひざ)までつかる程度
[Symbol]	0.5~1.0m未満	[0.5~1.0m] 大人の腰(こし)までつかる程度
[Symbol]	1.0~2.0m未満	[1.0~2.0m] 大人の胸(こし)までつかる程度
[Symbol]	2.0~3.0m未満	[2.0~3.0m] 2階の軒下までつかる程度
[Symbol]	3.0~5.0m未満	[3.0~5.0m] 2階の軒下までつかる程度
[Symbol]	5.0m以上	[5.0m以上] 2階建ての家の屋根が水没する
[Symbol]	大字界	大字界
[Symbol]	屋内の緊急避難場所	風水害なら土砂災害や水害のおそれがない学校の建物など、命を守ることを最優先に、災害の危険から逃れるための場所
[Symbol]	屋外の緊急避難場所	屋内の緊急避難場所、災害の危険区域内にあり、安全なエリアへの避難が難しいときに避難する緊急避難場所
[Symbol]	土砂災害	土砂災害
[Symbol]	水害	水害
[Symbol]	避難先安全レベル	土砂災害や浸水が発生した場合でも十分に安全な避難先、土砂災害や浸水が発生した場合でも一定の安全を確保することが可能である避難先、大規模災害等が想定される場合には事前に関設しないとするが、開設した場合であっても、危険が迫った場合には閉鎖の可能性のある避難先
[Symbol]	地域の危険箇所	地域で把握している危険な箇所
[Symbol]	避難時に支援が必要な人	避難行動要支援者名簿の登録者や、高齢者・障害者・乳幼児など、避難に支援が必要な人
[Symbol]	地域の緊急避難場所	地区で開設する地区集会所・児童館などの緊急避難場所

図 2-5 青枝地区防災マップ



図 2-6 中地区防災マップ

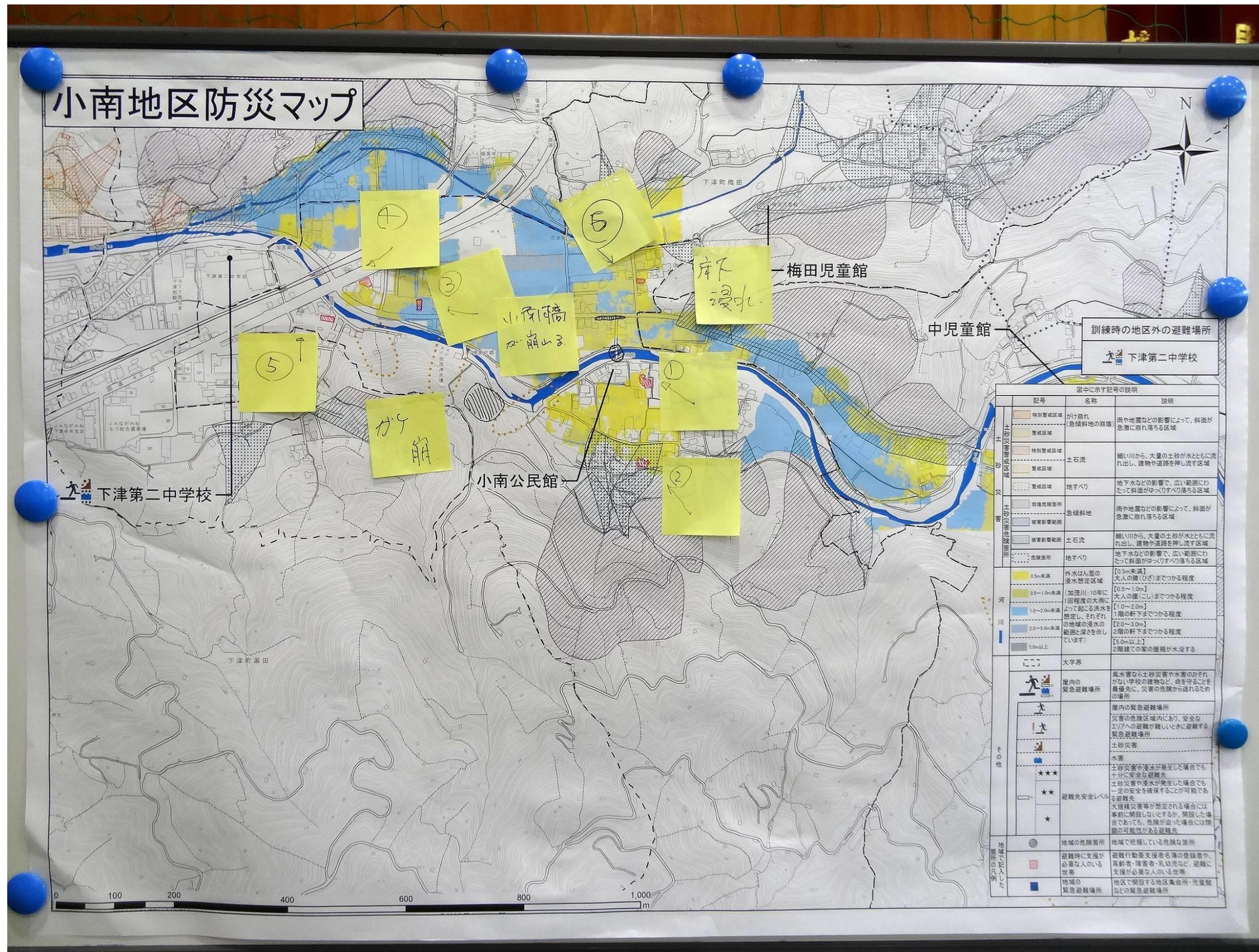


図 2-7 小南地区防災マップ



梅田地区防災マップ

訓練時の地区外の避難場所
 下津第二中学校

記号	名称	説明
[Symbol]	特別警戒区域	雨や地震などの影響によって、斜面が急激に崩れ落ちる区域
[Symbol]	警戒区域	雨や地震などの影響によって、斜面が急激に崩れ落ちる区域
[Symbol]	特別警戒区域	細い川から、大量の土砂が水とともに流れ出し、建物や道路を押し流す区域
[Symbol]	警戒区域	細い川から、大量の土砂が水とともに流れ出し、建物や道路を押し流す区域
[Symbol]	警戒区域	地下水などの影響で、広い範囲にわたって斜面がゆるみやすくなる区域
[Symbol]	警戒区域	地下水などの影響で、広い範囲にわたって斜面がゆるみやすくなる区域
[Symbol]	警戒区域	雨や地震などの影響によって、斜面が急激に崩れ落ちる区域
[Symbol]	警戒区域	雨や地震などの影響によって、斜面が急激に崩れ落ちる区域
[Symbol]	警戒区域	細い川から、大量の土砂が水とともに流れ出し、建物や道路を押し流す区域
[Symbol]	警戒区域	細い川から、大量の土砂が水とともに流れ出し、建物や道路を押し流す区域
[Symbol]	警戒区域	地下水などの影響で、広い範囲にわたって斜面がゆるみやすくなる区域
[Symbol]	警戒区域	地下水などの影響で、広い範囲にわたって斜面がゆるみやすくなる区域
[Symbol]	0.5m未満	【0.5m未満】 外水はん濫の浸水想定区域 大人の膝(ひざ)までつかる程度
[Symbol]	0.5~1.0m未満	【0.5~1.0m未満】 加茂川・10年に1回程度の大雨に よって起こる洪水を想定し、それぞれ の地域の浸水の範囲と深さを示しています
[Symbol]	1.0~2.0m未満	【1.0~2.0m未満】 1階の軒下までつかる程度
[Symbol]	2.0~5.0m未満	【2.0~3.0m未満】 2階の軒下までつかる程度
[Symbol]	5.0m以上	【5.0m以上】 2階建ての家の屋根が水没する
[Symbol]	大字界	大字界
[Symbol]	屋内の緊急避難場所	風水害なら土砂災害や水害のそれぞれが ない学校の建物など、命を守ることを最優先に、災害の危険から逃れるための場所
[Symbol]	屋内の緊急避難場所	屋内の緊急避難場所 災害の危険区域内にあり、安全なエリアへの避難が難しいときに避難する緊急避難場所
[Symbol]	土砂災害	土砂災害
[Symbol]	水害	水害
[Symbol]	避難先安全レベル	土砂災害や洪水が発生した場合でも十分に安全な避難先 土砂災害や洪水が発生した場合でも一定の安全を確保することが可能である避難先 大規模災害等が想定される場合には事前に開設しないとするが、開設した場合であっても、危険が迫った場合には避難の可能性がある避難先
[Symbol]	地域の危険箇所	地域で把握している危険な箇所
[Symbol]	避難時に支援が必要な人のいる世帯	避難行動要支援者名簿の登録者や、高齢者・障害者・乳幼児など、避難に支援が必要な人のいる世帯
[Symbol]	地域の緊急避難場所	地区で開設する地区委員会・児童館などの緊急避難場所

図 2-8 梅田地区防災マップ

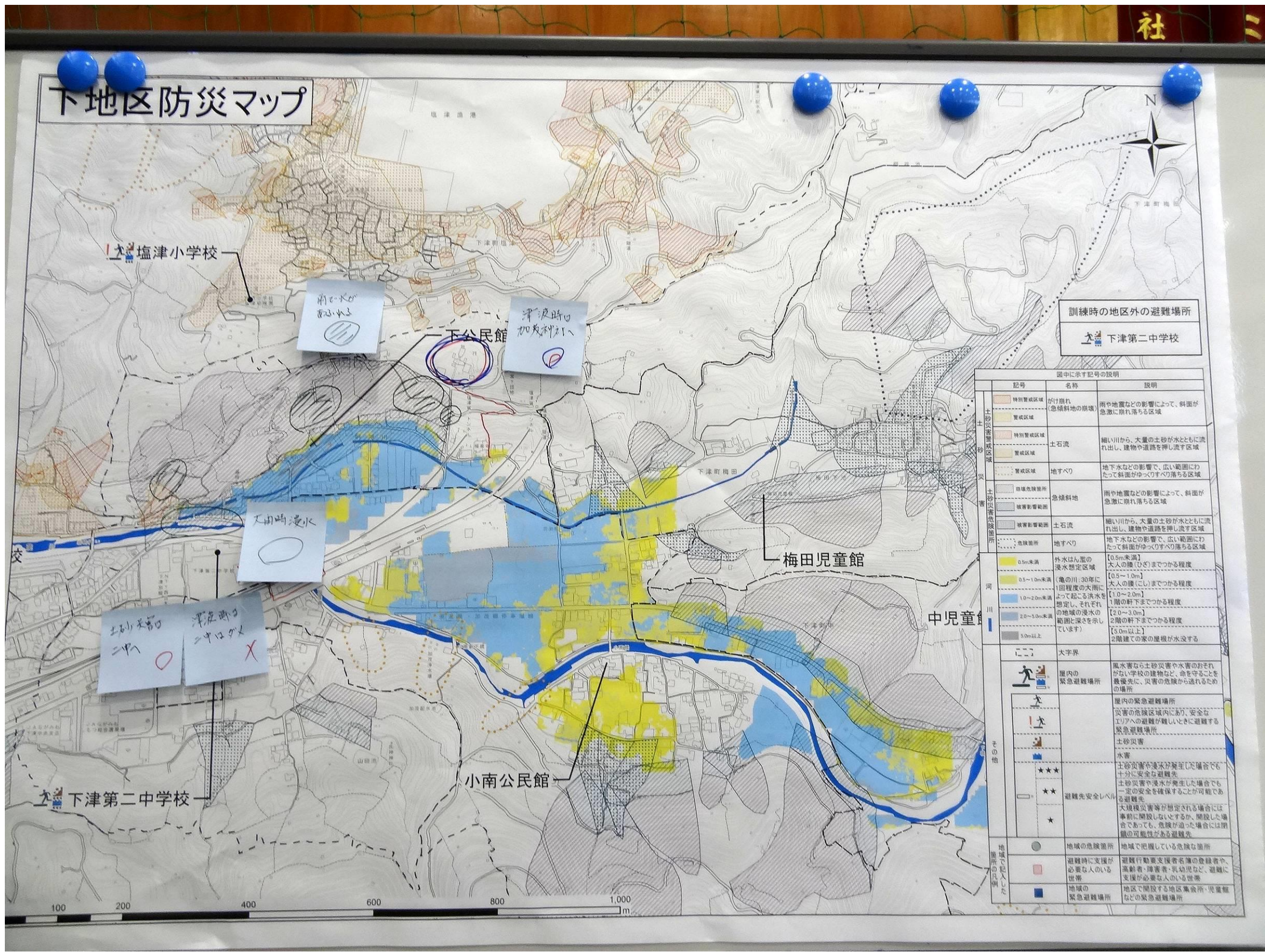


図 2-9 下地区防災マップ

3. 防災訓練

3.1. 訓練概要

日時	平成 27 年 8 月 30 日（日） 9:00～10:00
場所	大窪・沓掛・市坪・橋本・小松原・青枝・中・小南・梅田・下
参加者	地区参加者 1,740 名 避難所開設職員 6 名 合計 1,746 名
内容	1. 避難訓練 2. 避難訓練後に地区の防災ミーティング（任意）

3.2. 記録結果

(1) 沓掛



避難所への避難



避難所への避難



避難完了



アンケートへの記入



集会の様子

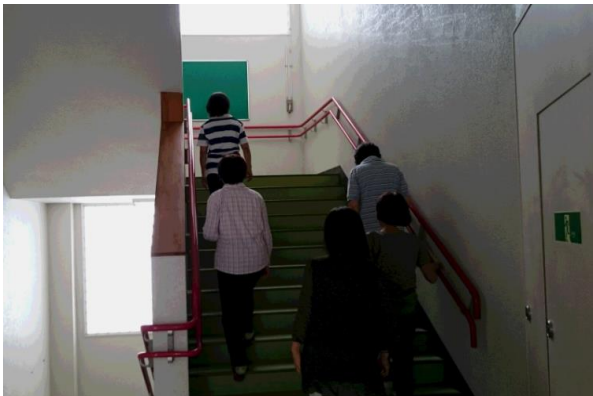
(2) 市坪



避難所への避難



安否確認



避難情報発令により校舎3階へ避難



避難情報発令により校舎3階へ避難



アンケートへの記入

(3) 橋本



避難所への避難



避難所への避難



避難完了



アンケートへの記入

(4) 小松原・青枝



避難所への避難



避難所への避難



避難完了



避難情報発令により校舎3階へ避難



避難情報発令により校舎3階へ避難

(5) 青枝



避難所への避難



避難所への避難



安否確認



避難完了



アンケートへの記入



集会の様子

(6) 小南・下



避難所への避難



避難所への避難



安否確認



校舎3階への避難



校舎3階への避難



校舎3階への避難

3.3. アンケート結果

※アンケート回答数 542 件

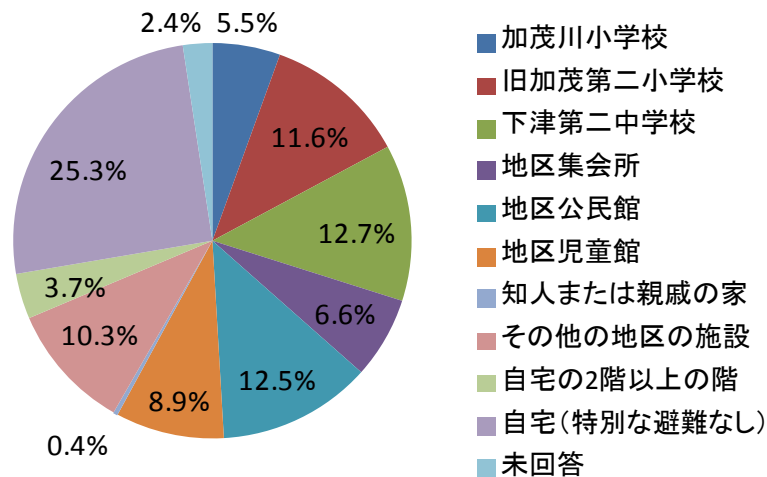
Q1. 今回の訓練で、あなたはどこに避難しましたか。

【アンケート結果】

加茂川小学校	30
旧加茂第二小学校	63
下津第二中学校	69
地区集会所	36
地区公民館	68
地区児童館	48
知人または親戚の家	2
その他の地区の施設	56
自宅の2階以上の階	20
自宅（特別な避難なし）	137
未回答	13

・集会所・公民館・児童館の内訳

大窪集会場	36
沓掛公民館	14
市坪児童会館	0
橘本公民館	57
小松原児童館	0
青枝児童館	33
中児童館	0
小南公民館	0
下公民館	0



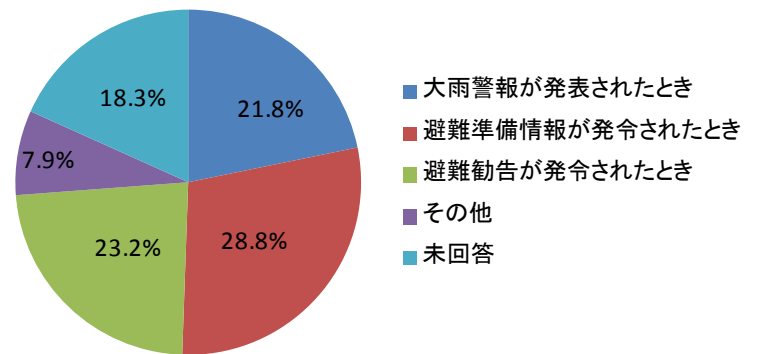
Q2. 問1で答えた場所に避難したのはいつですか。

【アンケート結果】

大雨警報が発表されたとき	118
避難準備情報が発令されたとき	156
避難勧告が発令されたとき	126
その他	43
未回答	99

・その他回答

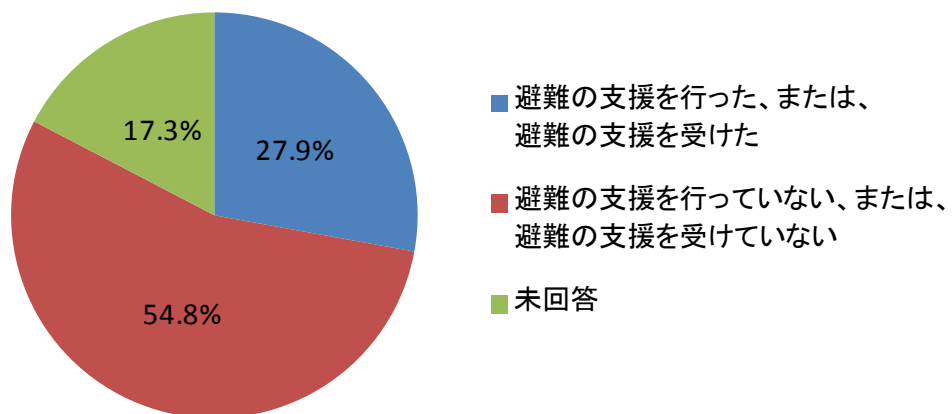
- ずっと自宅にいた
- 特別な避難なし
- 避難せず
- 仕事
- しらなかった
- 自宅
- 訓練
- まだ避難した事がない
- 訓練のサイレンがなってから



Q3. 避難にあたって、あなたはどなたかに支援（声かけ・付添いなど）を行いましたか。

【アンケート結果】

避難の支援を行った、または、避難の支援を受けた	151
避難の支援を行っていない、または、避難の支援を受けていない	297
未回答	94



Q4. 訓練に参加して、お気づきになったことや感じたことをお書きください。

【アンケート結果（御回答いただいた原文の内容をそのまま記載しています）】

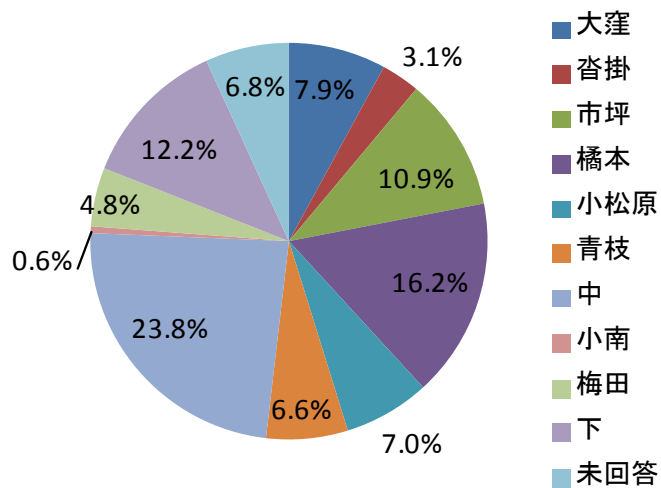
- 避難放送の音（サイレン）（→良く聞こえる）声が少し聞こえにくいと感じました。
- 放送が聞こえにくい。
- 放送の音が散って聞き取りにくいです。
- 防災マイクの放送が早口すぎ。繰り返し、放送もしてほしい。
- 集会所では、防災無線が聞き取りにくい。
- 各自に避難するって言われたが、どういうタイミングなのかわからずとまどいました。
- レベルによって、避難場所まで行くのが、はたして、正か非か。
- 訓練なら今回の避難場所はOKですが、本当に大雨が降り加茂川が氾濫した時は、下二中へたどり着くのが大変だし、たどり着くまでに流されるおそれがある。
- 私の家からは下津2中よりも、加茂宮・極楽寺の方がよいと思った。
- どこにあつまっていいかわかりづらかった。回覧板を読むこと。
- 下津二中のどこに集合していいかわからなかったので、正面玄関先に誰か立って誘導が必要（今回正面玄関から入室）。
- 大雨出た時、川が怖い、下津二中に避難出来ない。
- 避難に必要な備品を持っている人は少ない整備しておく必要あり（これも訓練のひとつ）
- 避難訓練は手ぶらで良いのか？
- 避難場所での時間の使い方を有効に！
- 旧加茂第二小学校にエレベーターをつけてください。ソーラー発電つけてください。
- 勧告がでたあとに2階に移動しましたが、最初の避難から2Fでよいのでは。せっかく集まったので待機している間、土石流のVTR等、注意の喚起をしてもよかったのでは。
- 大窪の安全な避難場所はどこですか。
- 半数以上の方が集まり予想外に多勢参加された。アンケートの単位が個人か世帯かはっきりしていなかった。参加者は個人、不参加者は世帯とした。
- 沓掛の一番危険な場所を避難所にするのは何故か。
- 避難場所が危険だと思う。
- 今回は訓練という事で家族1人で参加しましたが、実際に全員が避難となると、各施設とも全員が収容する事が出来ない。避難施設が脆弱で規模も小さく、実際の時役にたたない。
- 歩行に無理がある人（1人住）等を何故に付そうか？
- 訓練には体が不自由な人や老人の人が参加していなかったように思います。そういった人にぜひ参加してもらいたいと思いました。
- なにかも、説明ぶそく。
- もう少し避難場所を明確にする必要がある。（不明確）
- 訓練だからしかたないが、臨場感に欠ける。時間を夜にするとかも考えられるが・・・。
- 予想される東南海南海地震に比べ危機感がない。
- 良い事です。
- 自宅の二階が手げまな為。
- 訓練でも参加の出来る人がもっと多くてもと感じました。
- 初めての参加でした。あまり危機をもたず、のんびりと避難をしてしまいました。

- 本日雨の為母の参加は見あわせました。車いすを使う為階段等あることに不安を感じました。
- 以前より参加の人数が増えたと思う。近所同志の声かけが有難かったです。避難用具の持参を徹底することで常備していない人は準備するきっかけに、常備している人は用具の見直しの機会になると思います（重いと大変ですが）。
- 青枝は、土砂災害地域が広いため、安全な場所はほとんどない。
- 二中の方向へ歩きながら、川の水位が上昇した時、二中前の橋が渡れるのか？自宅で居た方が安全なのか？等々。下地区の方々ともお話できた事が良かったです。避難所で名簿を記入した時、以前テレビのニュースで見た事が他人事ではないと感じました。ヘルメットをかぶりリュックを背負い、傘をさして歩いたら、とても歩きにくかったのが、実際の大雨になったら・・・と思うと色々考えなくてはならないなあ・・・って思いました。今回の訓練に参加させてもらって良かったです。
- 参加者が多かった。
- あわてないで落ち着いてした。
- 割合安全な場所に住んでるから、避難考えたこともない。でも風がすごいから。
- 安全。
- 仕事で参加出来ませんでした。
- 今回訓練には不参加でした。外出していたので。
- まだまだ訓練に参加する人が少ないように思う。
- 訓練は初めてだったので良かったと思いました。
- 訓練は本当に良かった。
- 子供達も一緒に参加出来、本当の災害の時、子供だけでも小学校に行くように、身をもって教えられた事がすごく良かったです。
- 今回は訓練のようなことをしていない（するように区からも言われていない）。
- お年寄りなど歩行が困難な方にどのような体制で動けるかが大切だと思いました。チームでの避難が大切と感じました。
- 父と離れた場所に住んでいるので、すぐに迎えに行けないと思いました。近所の方がお声をかけてくれて、助かるなあと思いました。
- 初めての訓練で良い経験で良かったです。
- 初めての訓練に参加してよかったです。
- 初めての事で大変よかったです。
- みんなにお会いできて色々な話し出来ました。
- もっとしんげんに。
- 実際訓練の設定と同じ事が起こった時、訓練の様には冷静に行動できるか自信ないですが、改めて防災について考えるきっかけにはなったのかなと思います。
- 近所の人4軒集合。
- 足が悪いので車でいこうと思いましたが、周りが歩いていたのでやめました。
- 避難訓練に参加してよかったです。
- 実際に、災害が来た時に慌てず、かつ冷静にまわりの家族や人々、みんなが身を守り逃げる事ができるのだろうか？きっとパニックになってあわてて、自分の身も守れないのではないかと思います。
- 役員さんが地図でくわしく説明して下さいました。

Q5. あなたのお住まいの自治会・区名をお書きください。

【アンケート結果】

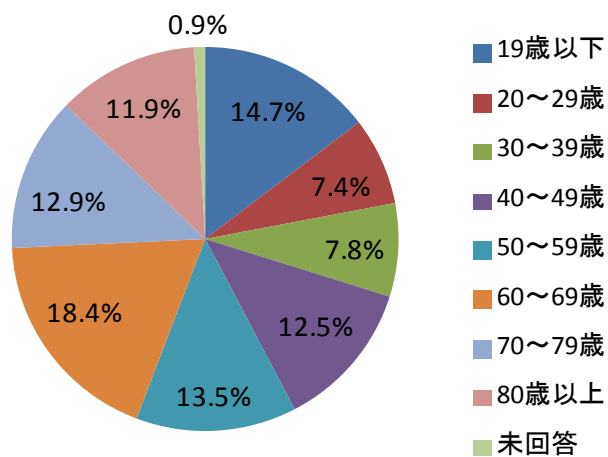
大窪	43
沓掛	17
市坪	59
橘本	88
小松原	38
青枝	36
中	129
小南	3
梅田	26
下	66
未回答	37



Q6. あなたを含めたご家族の年齢と人数をお書きください。

【アンケート結果】

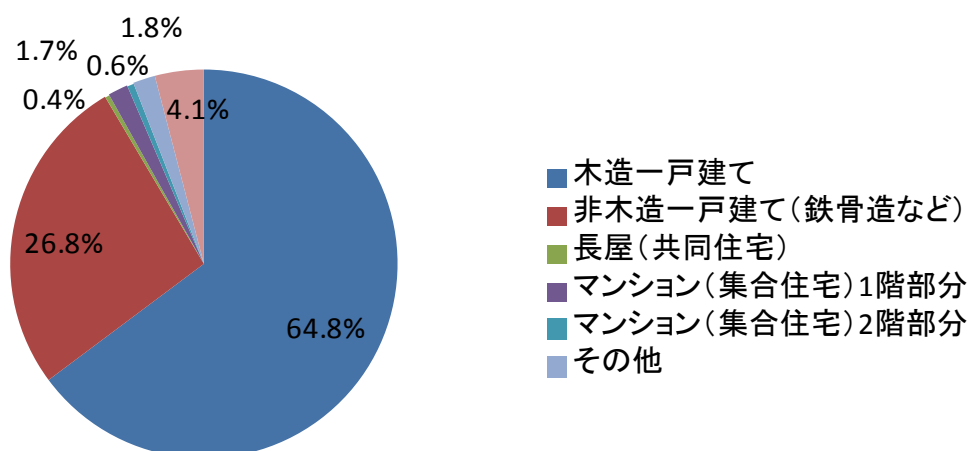
19歳以下	255
20～29歳	128
30～39歳	136
40～49歳	217
50～59歳	235
60～69歳	321
70～79歳	225
80歳以上	207
未回答	16
計	1,740



Q7. あなたのお住まいの住宅はどのような形態ですか。

【アンケート結果】

木造一戸建て	351
非木造一戸建て（鉄骨造など）	145
長屋（共同住宅）	2
マンション（集合住宅）1階部分	9
マンション（集合住宅）2階部分	3
マンション（集合住宅）3階以上部分	0
その他	10
未回答	22



Q8. その他、海南市の防災対策などについてご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

【アンケート結果（御回答いただいた原文の内容をそのまま記載しています）】

- マイクの音声が聞きとれないことがある。
- 私の家が大きな建物などの谷間の平屋建の為か、昔より放送マイクの音声がとても聞き取りにくく、内容が分かる時がありません。マイクの場所も時々見に来てほしいと思います。
- 雨が降ってる時放送が聞えない時あり。
- 雨など降ると放送が何を言っているのか聞きとれない。
- 放送が自宅内では聞こえにくく、外に出ても同じで、当日昼は、高齢者のみ、又近くも高齢者の方が多く、放送の音がハッキリ届くよう場所、音量等検討お願いしたい。
- マイクの放送が聞き取りにくい。
- 海南市防災放送が聞き取りにくい。自立防災組織の充実(災害に十分対処できる様)。
- 放送が正確に聞きとれません。

- 雨がひどく降っている時、防災の放送が聞きとりにくいように思います。（雨戸を締めきっていることもあるため）。
- 家の中では放送が聞こえにくい。
- 警報の発表が聞こえるかどうか1番不安です。どの種の警報でもサイレンをできるだけ大きな音で長く鳴り続けさせてほしいと思います。
- 防災放送は繰り返し何回も行なってほしい。家の中でいると気が付かない時がある為。
- テレビを見ていたせいか、訓練開始の放送は、聞きとれなかった。9:30頃のは、聞こえました。
- 避難場所への最短ルートが加茂川の横を歩くため溢れた時、危険と思いました。迂回ルートを考える必要があると思いました。
- 市街中心地区に買物や病院に行くことも多いので、そういう場所での避難の仕方もわかりやすくしてほしい。
- 消防団との連携を取るようになってほしい。
- 事前に町内放送をやるのであれば、全員参加をアピールしましょう。
- もっと皆が集合するようにする。
- 地区ごとの名簿が必要と思った。
- あまり危機感がないので、非常用持出袋をもっている人が少なかった。もっと訓練するなら回覧板の周知の方法を検討すべき。
- 非常持ち出し袋の中に何を入れたら良いかわからない。加茂川が氾濫した場合、下津二中に来るのが困難な時自宅待機で良いのか？
- 防災グッズの支給をお願いします。
- 我が家周辺住民は加茂神社を避難場所に行っている家族が多い。神社周辺に防災用具入れや備品等あれば役立つと思いました。
- 実際避難となった場合、国道の信号横断などに誘導は付くのでしょうか？
- 地すべり対策を実施してほしい。
- 大窪の地すべり対策はどうなっているのか？
- 安全な避難場所が近くにない。
- 安全な避難場所を設置してほしい。
- 安全な場所がわからない。
- 地区に安全な避難所がほしい。
- ペットがいるので小学校に避難する場合、車でいきたいのですが乗り入れは可能でしょうか。
- 訓練等、数多くしてほしい。
- 河川があふれた時家の下を流れている小川に手すりが必要かと思います。（寺への避難時に危険かと）
- 市役所の改善も大事ですが市民の側にとっては、先に公民館等の施設の建設を希望します。
- 一人暮らしの方への声かけ。
- 人口が減っている場所に対して避難対策をもっと明確にしてほしい。
- 行政の対応が、どのように進んでいるか説明がない為わかりません。
- もうひとつ何をしているのか分かりにくい。

- 市の職員は、写真をとるばかりで防災の緊迫感なし。耳の不自由な人もいるかわからないので、拡声器をつかうべき。
- 日ごろからもっと安全対策に取り組み、危険な場所は早めに自治会や区に指摘し、なおすなり防護策などを考え安全に身を守れるような対策をしてほしいと思います。
- 今年は特に防災に力を入れてくれていて、ありがたいです。
- これからも何回か避難訓練に参加したいと思います。
- 防災訓練をしといたほうが良い。
- たまに台風がえらく吹くことがありますから、自治会の建物へでも避難しようかと考えてます。家よりも、みかん畑も気になります。
- 私は1人ですので家の鉄骨に居ます。
- 雨が多く、大雨の時心配になります。
- この様な出会いを作って下さってよかったです。